

# 新型コロナウイルス感染症に関する疑問

## どうやって感染するの？

現時点では、「飛沫（ひまつ）感染」と「接触感染」の2つが考えられています。

### ①飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つば等）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

**【感染を注意すべき場面】**屋内などで、お互いの距離が十分確保できない状況で一定時間を過ごすとき

### ②接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物にふれると、物にウイルスが付きます。感染していない方がその部分に接触し、ウイルスが手指に付着したまま目や鼻、口に触れることで、ウイルスが粘膜を通じて体内に侵入し感染します。

**【感染場所の例】**ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチ、バスのつり革 等

## 濃厚接触者とは

濃厚接触者とは、新型コロナウイルス感染者（無症状を含む）と、ウイルスがうつる可能性のある期間（発症2日前から隔離開始までの間）に**近距離**で接触、あるいは**長時間**接触し、感染の可能性が高くなっている方を指します。

### 【接触の内容】

- ・対面で互いに手を伸ばすと届く距離（1m程度）で、感染防止策（マスク等）なしに15分以上接触があった場合
- ・同居、あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった場合
- ・感染者の咳やくしゃみ、鼻水、尿等のしぶきに触れた可能性が高い場合

※15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発声を伴う行動や対面での接触の有無など、「3密」の状況などにより、感染の可能性は大きく異なります。

## 濃厚接触者となったらどうしたらいいの？

**最終的に濃厚接触者の特定の判断は保健所が行います。**新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合や濃厚接触の疑いがある場合は、下記へ電話でご相談ください。

- ・沖縄県コールセンター：TEL 098-866-2129（24時間、土日対応）
- ・帰国者・接触者相談センター（中部保健所）：TEL098-938-9701（平日8時30分～17時15分）

### ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）

厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができるスマートフォンアプリ（COCOA）の利用を推進しています。下記QRコードからダウンロード可能です。

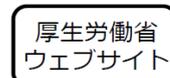
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



## PCR検査、抗原検査、抗体検査は何が違うの？

【**現在**、新型コロナウイルスに感染しているかどうかを調べる検査】

「PCR検査」と「抗原検査」の2種類があります。違いは以下の通りです。

	PCR検査	抗原検査
検査方法	鼻腔粘膜や唾液から採取した検体から、新型コロナウイルスのRNA遺伝子を増やして調べる。	鼻腔粘膜や唾液から採取した検体から、新型コロナウイルス特有のたんぱく質（抗原）を調べる。
結果判明までにかかる時間	数時間＋検査機関への搬入時間（遺伝子を増やすことに時間がかかる）	約30分
精度	抗原検査より精度は高い （抗原検査より少ない量のウイルスで検出可能）	PCR検査より精度が低い （PCR検査よりウイルス量が多くないと検出できない）
活用の場	病院や医師会PCR検査センター	クリニックや診療所 （素早く陽性者を見つけ、感染拡大させないために活用期待）

【**過去**、新型コロナウイルスに感染していたかどうかを調べる検査】

「抗体検査」があります。抗体検査は、体内にウイルスが存在しているかどうかを確認するPCR検査や抗原検査とは異なり、体内に侵入したウイルスを攻撃するために作られた「抗体」の存在を確認する検査です。

### Qどうして過去の感染状況しかわからないの？

体内にウイルスが侵入すると、ウイルスを攻撃する役割の「抗体」が作られます。この抗体が作られるのは、ウイルスが体内に侵入してから1～3週間後のため、現在の感染状況を判定することはできません。現時点では、抗体検査を実施することで、どれくらいの規模で感染が拡大していたのかを推測する等調査目的で実施されることがあります。

## 無症状の陽性者からも感染するの？

一般的に、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性が最も高いと言われています。しかし、新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる前から感染が広がる恐れがあるとの専門家の指摘や研究結果も示されています。

## 行政検査と保険診療の検査の違い

- ・行政検査：帰国者・接触者相談センター（中部保健所）において、新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、PCR検査が必要だと判断された方が受ける検査です。
- ・保険診療の検査：医療機関の医師が新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、PCR検査が必要だと判断された方が受ける検査です。

### 【費用】

医師が必要と判断し、帰国者・接触者相談センターや医師会PCR検査センター等の機関においてPCR検査を実施した場合、PCR検査費用にかかる自己負担分はかかりません。ただし、診察やPCR以外の検査（胸部レントゲン検査、血液検査 等）については、自己負担分が発生します。

## PCR検査を受けるまで

感染が疑われる症状があれば、沖縄県コールセンターやかかりつけ医へ電話相談したうえでの受診をお願いします。また、沖縄県は以下のように、PCR検査の対象者について公表しています。

・PCR検査の対象者の考え方（R2.8.7時点）

	濃厚接触がある	濃厚接触がない
症状がある	保健所が医療機関を紹介	医療機関を受診
症状がない	医療・介護従事者等、基礎疾患を有する者*1、65歳以上の者については保健所が医療機関を紹介	事業所による検査*2または2週間の健康観察

\*1基礎疾患を有する者とは、糖尿病、心不全、呼吸器疾患のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、肥満、妊婦等を指します。

\*2事業所による検査とは、行政検査や保険適用のPCR検査の対象には当てはまらないが、不安軽減等を目的として企業等が独自に実施する検査を指します。

問診サイト QRコード

・スマートフォンを使って新型コロナウイルス感染症を即問診できます！

中部地区医師会は、新型コロナウイルス感染症の検査が必要かどうかスマートフォンの問診により判断できるシステムを開発しました。ご利用は中部医師会ホームページやQRコードからアクセスをお願いします。



## PCR検査を受けて、結果が出るまでの間

本人は外出を控え、ご家族や同居されている方も体温測定など健康観察を実施しながら結果を待ちましょう。出勤、通学についての判断は、各勤務先や学校への確認をお願いします。また、下記の資料を参考に家庭内での感染対策をお願いします。

・家庭内でご注意いただきましたこと～8つのポイント～

（村ホームページ-感染防止対策 か 厚生省ホームページからご確認ください）

## PCR検査の結果が判明した後

【陽性の場合】

保健所から連絡がきて、個人に応じて、入院やホテル療養、自宅療養いずれかの指示があります。保健所の指示に従った行動をお願いします。

【陰性の場合】

結果が陰性であっても、約2週間は体温測定など健康観察や咳エチケット、3密を避けるといった感染防止対策の実施をお願いします。通勤、通学についての判断は、各勤務先や学校への確認をお願いします。

（参考）

- ・厚生労働省ホームページ（新型コロナウイルスに関するQ&A）
- ・首相官邸ホームページ（新型コロナウイルス感染症への備え）
- ・新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック（第2.2版）
- ・国立感染症研究所（濃厚接触者定義 R2.4.20時点）
- ・沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部（PCR検査の対象者の考え方）